



高 監 発 第 10 号
令 和 6 年 9 月 5 日

高座清掃施設組合
組合長 内 野 優 様

高座清掃施設組合
代表監査委員 上 原 昌 弘
監 査 委 員 笠 間 功 海



令和5年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算審査意見書に
ついて (提出)

地方自治法第233条第2項の規定に基づき審査に付された、令和5年度高座清
掃施設組合一般会計歳入歳出決算書及び決算附属書類について審査した結果、別添
のとおり意見書を提出します。

令和5年度

高座清掃施設組合

一般会計歳入歳出決算審査意見書

高座清掃施設組合監査委員

令和5年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算審査意見書

目 次

1	審査の対象	1
(1)	令和5年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算書	1
(2)	政令で定める書類	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
4	審査の結果	1
5	決算	1
(1)	組合の沿革と現状等	1
(2)	概要	3
(3)	歳入決算状況	4
(4)	歳出決算状況	9
6	実質収支に関する調書	16
7	財産に関する調書	16
8	結び	17
	決算審査資料	21
別表1	最近5箇年の歳入決算状況	23
別表2	分担金決算年度比較表	24
別表3	最近5箇年の歳出決算状況	26
別表4	最近5箇年の単年度収支状況	27
別表5	款別歳入決算年度比較表	28
別表6	款別歳出決算年度比較表	29

令和5年度高座清掃施設組合
一般会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

- (1) 令和5年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算書
- (2) 政令で定める書類

令和5年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書
令和5年度高座清掃施設組合一般会計実質収支に関する調書
令和5年度高座清掃施設組合一般会計財産に関する調書

2 審査の期間

令和6年8月9日から令和6年9月4日まで

3 審査の方法

組合長から提出された一般会計歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、同実質収支に関する調書及び同財産に関する調書について、関係法令の定めるところに従って調製され、かつ計数も正確に表示されているか、予算の執行は適正に行われているかを検討するため、証拠書類との照合、関係書類の閲覧、また関係職員からの説明聴取、例月出納検査資料の参照等の方法によって審査を行った。

4 審査の結果

一般会計歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、同実質収支に関する調書及び同財産に関する調書は、いずれも関係法令の定めるところに従って調製され、計数は通帳と符合し正確に表示されており、本会計の予算の執行も、全般的に所期の目的に従い効率的かつ適正に行われているものと認められた。

5 決 算

- (1) 組合の沿革と現状等

ア 沿革

高座清掃施設組合（以下「組合」という。）は、昭和38年に海老名市、座間市、綾瀬市（以下「構成市」という。）の一般廃棄物の中間処理を共同処理するために設立した一部事務組合である。

し尿処理は昭和41年度から行い施設の増改築を経て、平成26年度に現在の水処理施設の運転を開始し、ごみ処理は昭和42年度から行い施設の増改築を経て、令和元年度に現在のじん芥処理施設等の運転を開始した。

更新した施設は、最新の公害防止基準に対応しており、安全・安心・安定した処理と循環型社会、温室効果ガスの排出量削減、周辺環境への配慮、防災及び経済性に配慮している。

施設更新の発注に際し、DBO方式（公共団体等が資金調達し、施設の設計・建設・運営を民間事業者が一体的に実施する方式）を採用したことから、令和元年度から20年間の運営管理は特別目的会社（高座エコクリエイション（株））が行うこととなっている。

施設更新の基本方針は、「国内最高水準の安全・安心な施設」、「資源循環型のまちづくりの拠点となる施設」、「市民の活動をサポートし、利用したいと思われるような施設」、「地域の環境整備に貢献できるような施設」とし、施設の種類を高効率ごみ発電施設（122.5t/24h×2炉=245t/日）、マテリアルリサイクル施設（14t/5h）、環境プラザとした。

附帯施設（余熱利用施設等）について、昭和50年度に本郷老人福祉センター、平成5年度に屋内温水プール、令和元年度に本郷ふれあい公園（第一工区）をそれぞれ供用開始している。

これらの附帯施設は、組合周辺住民はもとより構成市民等に親しまれている。

イ 当該年度の状況（背景）

令和元年度からじん芥処理施設等の管理運営を特別目的会社へ委託し、高座クリーンセンターとして運営を開始しており、屋内温水プール等の附帯施設も含め安定した運営に尽力している。

環境プラザ、本郷老人福祉センター、屋内温水プールの利用状況は、令和2年度における新型コロナウイルスの影響により軒並み減少していた。

その後、令和3年度は利用状況の回復はみられなかったが、令和4年以降、徐々に回復傾向にあり、当該年度はほぼ、従前の状況に戻りつつある。

稼働を停止した旧処理施設の解体撤去等については、旧排水処理施設、旧粗大ごみ処理施設の解体がすでに完了しており、令和5年度からは第二清掃処理場解体撤去工事が開始している。

また、組合周辺の環境整備の一環である本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業は令和8年度の供用開始を予定しており、令和5年度から整備工事を着工している。

ウ 今後の展開（見込）

令和5年度から第二清掃処理場解体撤去工事を開始しており、本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業については、令和8年度の供用開始に向け事業に取り組んでいる。

併せて本郷老人福祉センター及び屋内温水プールの老朽化に伴う対策措置及び在り方を引き続き検討していくこととしている。

敦賀市との訴訟については、第二審（令和4年12月）の判決の結果、組合の全面勝訴となったが、原告側がこれを不服とし最高裁判所に上告しており、引き続き最高裁判所の判断待ちの状態である。

構成市の財政負担を視野に入れて、これらの事項について取り組まなければならない。

(2) 概要

一般会計の予算現額 4,245,262,908 円に対する決算額は、次のとおりである。

歳入決算額	3,513,592,457 円
歳出決算額	3,126,643,460 円
歳入歳出差引残額	386,948,997 円

予算現額（下表 - 1 中 A）4,245,262,908 円に対して決算額は、歳入総額（同 B）3,513,592,457 円（対前年度比較 262,813,856 円・7.0%減）、歳出総額（同 C）3,126,643,460 円（対前年度比較 152,058,734 円・4.6%減）である。

歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支（同 D）は 386,948,997 円（対前年度比較 110,755,122 円・22.3%減）となり、翌年度へ繰り越すべき財源（同 G）61,093,900 円を差し引いた実質収支（同 H）は 325,855,097 円（対前年度比較 161,886,114 円・33.2%減）となった。

予算現額に対する決算額の執行率は、歳入が 82.8%、歳出が 73.7%である。

歳入歳出決算額等比較

表 - 1

(単位：円)

	令和 5 年度 (a)	令和 4 年度 (b)	年度比較 (a) - (b)	対前年度 伸 率
予算現額 A	4,245,262,908	3,830,835,000	414,427,908	10.8%
歳入総額 B	3,513,592,457	3,776,406,313	△262,813,856	△7.0%
歳出総額 C	3,126,643,460	3,278,702,194	△152,058,734	△4.6%
形式収支 D (B - C)	386,948,997	497,704,119	△110,755,122	△22.3%
翌年度繰越額 E	735,132,900	27,862,908	707,269,992	2,538.4%
Eのうち未収入 特定財源 F	674,039,000	17,900,000	656,139,000	3,665.6%
翌年度へ繰り越すべき 財源 G (E - F)	61,093,900	9,962,908	51,130,992	513.2%
実質収支 H (D - G)	325,855,097	487,741,211	△161,886,114	△33.2%
単年度収支 I (H (a) - H (b))	△161,886,114	32,611,686	△194,497,800	△596.4%
執行率 (歳入)	82.8%	98.6%		
執行率 (歳出)	73.7%	85.6%		

(3) 歳入決算状況

歳入決算状況

表 - 2

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額と収入済額 の比較 ②-①
5年度	4,245,262,908	3,513,592,457	3,513,592,457	0	0	△731,670,451
4年度	3,830,835,000	3,776,406,313	3,776,406,313	0	0	△54,428,687
増減額	414,427,908	△262,813,856	△262,813,856	0	0	△677,241,764
増減率	10.8%	△7.0%	△7.0%	0.0%	0.0%	△1,244.3%

歳入は、予算現額 4,245,262,908 円に対して調定額 3,513,592,457 円、収入済額 3,513,592,457 円である。

予算現額に対する執行率は 82.8%であり、予算現額に満たなかった要因は、マテリアルリサイクル推進施設整備事業として、(仮称)剪定枝リサイクルセンター整備に向けた第二清掃処理場等解体撤去工事において、工事の進捗に遅れが生じたことにより、事業の一部を令和 6 年度へ繰り越したことから、特定財源となる国庫支出金、県支出金及び組合債についても翌年度の収入となったためである。

調定額に対する収入割合は 100.0%であり、収入済額の主たるものは、分担金及び負担金 2,415,517,000 円、使用料及び手数料 442,927,469 円、組合債 68,300,000 円である。

収入済額を前年度と比較すると、262,813,856 円・7.0%減である。

最近 5 箇年の歳入決算状況は、別表 1 (23 ページ) のとおりである。

歳入の各款別の状況は、次に述べるとおりである。

「1 款 分担金及び負担金」

分担金及び負担金決算額

表 - 3

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額と収入 決済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
5年度	2,415,517,000	2,415,517,000	2,415,517,000	0	0	0	100.0%	100.0%
4年度	2,474,239,000	2,474,239,000	2,474,239,000	0	0	0	100.0%	100.0%
増減額	△58,722,000	△58,722,000	△58,722,000	0	0	0		
増減率	△2.4%	△2.4%	△2.4%	0.0%	0.0%	0.0%		

分担金及び負担金の決算額は2,415,517,000円（対前年度比較58,722,000円・2.4%減）、歳入総額に対する割合は68.7%（前年度65.5%）となっている。

内訳として、運営費分担金は、人件費の減少、海老名市への交付金の減少等により対前年度73,617,000円（5.1%）の減額、建設費分担金は、(仮称)剪定枝リサイクルセンター整備の事業開始に伴い対前年度14,946,000円（1.5%）の増額、周辺環境整備費分担金は、本郷ふれあい公園整備事業を対象とする分担金であり、対前年度51,000円（0.2%）の減額となっている。

三市分担金の状況は、別表2（24・25ページ）のとおりである。

「2 款 使用料及び手数料」

使用料及び手数料決算額

表 - 4

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額と収入 決済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
5年度	406,249,000	442,927,469	442,927,469	0	0	36,678,469	109.0%	100.0%
4年度	411,197,000	427,268,956	427,268,956	0	0	16,071,956	103.9%	100.0%
増減額	△4,948,000	15,658,513	15,658,513	0	0	20,606,513		
増減率	△1.2%	3.7%	3.7%	0.0%	0.0%	128.2%		

使用料及び手数料の決算額は442,927,469円（対前年度比較15,658,513円・3.7%増）、歳入総額に対する割合は12.6%（前年度11.3%）となっている。

使用料及び手数料の収入済額の99.1%を占める事業系一般廃棄物処理手数料は、438,740,500円（対前年度比較15,284,250円・3.6%増）である。

「3款 国庫支出金」

国庫支出金決算額

表 - 5

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額と収入 決済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
5年度	279,188,000	55,133,000	55,133,000	0	0	△224,055,000	19.7%	100.0%
4年度	127,761,000	124,328,000	124,328,000	0	0	△3,433,000	97.3%	100.0%
増減額	151,427,000	△69,195,000	△69,195,000	0	0	△220,622,000		
増減率	118.5%	△55.7%	△55.7%	0.0%	0.0%	△6,426.5%		

国庫支出金の決算額は55,133,000円(対前年度比較69,195,000円・55.7%減)、歳入総額に対する割合は1.6%(前年度3.3%)となっている。

内訳は、本郷ふれあい公園整備に伴う防衛省所管補助金(厚木飛行場周辺公園設置助成事業補助金)50,834,000円及び(仮称)剪定枝リサイクルセンター整備基本計画策定及びPFI等導入可能性調査業務委託に伴う環境省所管循環型社会形成推進交付金4,299,000円である。

「4款 県支出金」

県支出金決算額

表 - 6

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額と収入 決済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
5年度	59,266,000	29,847,000	29,847,000	0	0	△29,419,000	50.4%	100.0%
4年度	34,970,000	39,679,000	39,679,000	0	0	4,709,000	113.5%	100.0%
増減額	24,296,000	△9,832,000	△9,832,000	0	0	△34,128,000		
増減率	69.5%	△24.8%	△24.8%	0.0%	0.0%	△724.7%		

県支出金の決算額は29,847,000円(対前年度比較9,832,000円・24.8%減)、歳入総額に対する割合は0.9%(前年度1.0%)となっている。

内容は、神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金であり、内訳として、衛生費県補助金18,200,000円は、第二清掃処理場等解体撤去工事及び(仮称)剪定枝リサイクルセンター整備事業に充てた財源、土木費県補助金11,647,000円は、本郷ふれあい公園(第二工区)整備事業に充てた財源である。

「5款 繰越金」

繰越金決算額

表 - 7

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額と収入 決済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
5年度	497,703,908	497,704,119	497,704,119	0	0	211	100.0%	100.0%
4年度	494,916,000	494,916,525	494,916,525	0	0	525	100.0%	100.0%
増減額	2,787,908	2,787,594	2,787,594	0	0	△314		
増減率	0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	△59.8%		

繰越金の決算額は497,704,119円(対前年度比較2,787,594円・0.6%増)、歳入総額に対する割合は14.2%(前年度13.1%)となっている。

内訳は、純繰越額487,741,211円(対前年度比較32,611,686円・7.2%増)、繰越明許費繰越額3,916,000円(対前年度比較8,041,000円・67.2%減)、事故繰越し繰越額6,046,908円(対前年度比較19,968,092円・76.8%減)である。

「6款 諸収入」

諸収入決算額

表 - 8

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額と収入 決済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
5年度	439,000	4,163,869	4,163,869	0	0	3,724,869	948.5%	100.0%
4年度	252,000	474,832	474,832	0	0	222,832	188.4%	100.0%
増減額	187,000	3,689,037	3,689,037	0	0	3,502,037		
増減率	74.2%	776.9%	776.9%	0.0%	0.0%	1,571.6%		

諸収入の決算額は4,163,869円(対前年度比較3,689,037円・776.9%増)、歳入総額に対する割合は0.1%(前年度0.1%)である。

内訳は、組合預金利子6,971円(対前年度比較4,298円・160.8%増)及び雑入4,156,898円(対前年度比較3,684,739円・780.4%増)である。

増額の主な要因は、令和4年度指定管理料の戻入未済分の当該年度入金によるものである。

「7款 組合債」

組合債決算額

表 - 9

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額と収入 済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
5年度	586,900,000	68,300,000	68,300,000	0	0	△518,600,000	11.6%	100.0%
4年度	287,500,000	215,500,000	215,500,000	0	0	△72,000,000	75.0%	100.0%
増減額	299,400,000	△147,200,000	△147,200,000	0	0	△446,600,000		
増減率	104.1%	△68.3%	△68.3%	0.0%	0.0%	△620.3%		

組合債の決算額は68,300,000円（対前年度比較147,200,000円・68.3%減）、歳入総額に対する割合は1.9%（前年度5.7%）となっている。

内訳として、衛生債20,500,000円は、第二清掃処理場等解体撤去工事を含む（仮称）剪定枝リサイクルセンター整備事業に充てた財源であり、土木債47,800,000円は、本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業に充てた財源となっている。

(4) 歳出決算状況

歳出決算状況

表 - 10

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	4,245,262,908	3,126,643,460	735,132,900	383,486,548	73.7%
4年度	3,830,835,000	3,278,702,194	27,862,908	524,269,898	85.6%
増減額	414,427,908	△152,058,734	707,269,992	△140,783,350	
増減率	10.8%	△4.6%	2,538.4%	△26.9%	

歳出は、予算現額 4,245,262,908 円に対して支出済額が 3,126,643,460 円（対前年度比較 152,058,734 円・4.6%減）、執行率 73.7%である。

支出済額の主なものは、特別目的会社によるじん芥処理施設等管理運営費及び指定管理料等による物件費 1,153,855,656 円、本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業及び第二清掃処理場等解体撤去工事等の普通建設事業費 226,536,178 円、職員人件費 462,558,802 円、施設更新等により借り入れた組合債償還に伴う公債費 1,028,929,922 円である。

最近5箇年の歳出決算状況は、別表3（26ページ）のとおりであり、支出済額の性質別の内訳は、次のとおりである。

支出済額の性質別内訳

表 - 11

(単位：円)

区分	令和5年度	令和4年度	増減額	対前年度伸率
人件費	462,558,802	465,509,719	△2,950,917	△0.6%
扶助費	2,860,000	3,280,000	△420,000	△12.8%
公債費	1,028,929,922	1,026,965,495	1,964,427	0.2%
普通建設事業費	226,536,178	384,612,959	△158,076,781	△41.1%
物件費	1,153,855,656	1,137,391,492	16,464,164	1.4%
補助費等	158,304,342	168,100,219	△9,795,877	△5.8%
維持補修費	93,598,560	92,842,310	756,250	0.8%
合計	3,126,643,460	3,278,702,194	△152,058,734	△4.6%

歳出の各款別の状況は、次に述べるとおりである。

「1款 議会費」

議会費決算額

表 - 12

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	1,156,000	1,089,830	0	66,170	94.3%
4年度	1,156,000	1,094,622	0	61,378	94.7%
増減額	0	△4,792	0	4,792	
増減率	0.0%	△0.4%	0.0%	7.8%	

議会費の決算額は1,089,830円（対前年度比較4,792円・0.4%減）、歳出総額に対する割合は0.1%（前年度0.1%）となっている。

予算現額1,156,000円に対する執行率は94.3%、不用額は66,170円である。

支出済額の主なものは、組合議会議員報酬905,030円である。

「2款 総務費」

総務費決算額

表 - 13

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	396,288,000	383,204,779	4,400,000	8,683,221	96.7%
4年度	404,235,000	395,144,376	0	9,090,624	97.8%
増減額	△7,947,000	△11,939,597	4,400,000	△407,403	
増減率	△2.0%	△3.0%	皆増	△4.5%	

総務費の決算額は383,204,779円（対前年度比較11,939,597円・3.0%減）、歳出総額に対する割合は12.2%（前年度12.0%）となっている。

予算現額396,288,000円に対する執行率は96.7%、不用額は8,683,221円である。

支出済額の主なものは、海老名市への交付金、特別職及び総務課所属職員の人件費、最終処分場借地料、電算機借料である。

なお、旧事務棟解体後の跡地利用に伴う測量業務委託として4,400,000円を令和6年度へ繰り越している。

○ 一般管理費

予算現額 352,257,000 円（対前年度比較 8,879,000 円・2.5%減）に対して支出済額は 345,713,997 円（対前年度比較 9,822,047 円・2.8%減）であり、不用額は 6,543,003 円、執行率は 98.1%である。

支出済額の主なものは、海老名市への交付金 152,280,222 円、特別職及び総務課所属職員の人件費 151,082,791 円、最終処分場借地料 34,172,060 円である。

不用額の主なものは、人件費及び委託料である。

○ 財政管理費

予算現額 43,919,000 円（対前年度比較 8,962,000 円・25.6%増）に対して支出済額は 37,397,283 円（対前年度比較 2,653,951 円・7.6%増）であり、翌年度繰越額は 4,400,000 円、不用額は 2,121,717 円、執行率は 85.2%である。

支出済額の主なものは、公用車、電算機、複写機等の賃貸に伴う使用料及び賃借料 23,922,775 円である。

不用額の主なものは、インボイス制度対応に伴うシステム改修等の委託料 1,724,010 円である。

○ 監査委員費

予算現額 112,000 円（対前年度比較、増減なし）に対して支出済額は 93,499 円（対前年度比較 8,501 円・8.3%減）であり、不用額は 18,501 円、執行率は 83.5%である。

支出内容は、監査委員報酬 93,499 円である。

「3款 民生費」

民生費決算額

表 - 14

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	25,942,000	25,643,476	0	298,524	98.8%
4年度	28,394,000	27,057,476	0	1,336,524	95.3%
増減額	△2,452,000	△1,414,000	0	△1,038,000	
増減率	△8.6%	△5.2%	0.0%	△77.7%	

民生費の決算額は25,643,476円（対前年度比較1,414,000円・5.2%減）、歳出総額に対する割合は0.8%（前年度0.8%）となっている。

予算現額25,942,000円に対する執行率は98.8%、不用額は298,524円である。

支出済額の主なものは、本郷老人福祉センター指定管理料23,748,000円である。

「4款 衛生費」

衛生費決算額

表 - 15

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	2,259,895,000	1,418,615,308	726,191,900	115,087,792	62.8%
4年度	1,453,445,000	1,342,745,797	3,916,000	106,783,203	92.4%
増減額	806,450,000	75,869,511	722,275,900	8,304,589	
増減率	55.5%	5.7%	18,444.2%	7.8%	

衛生費の決算額は1,418,615,308円（対前年度比較75,869,511円・5.7%増）、歳出総額に対する割合は45.4%（前年度41.0%）である。

予算現額2,259,895,000円に対する執行率は62.8%、翌年度繰越額は726,191,900円、不用額は115,087,792円である。

支出済額の主なものは、施設課所属職員の人件費、施設維持補修費、じん芥処理施設等管理運営業務、（仮称）剪定枝リサイクルセンター整備事業、第二清掃処理場等解体撤去工事である。

不用額の主なものは、時間外勤務手当等の職員手当、じん芥処理施設等管理運営業務及び施設修繕費である。

○ 清掃総務費

予算現額 336,114,000 円（対前年度比較 7,591,000 円・2.2%減）に対して支出済額は 322,178,077 円（対前年度比較 16,632,415 円・4.9%減）であり、不用額は 13,935,923 円、執行率は 95.9%である。

支出済額の主なものは、施設課所属職員の人件費 310,570,981 円である。

不用額の主なものは、時間外勤務手当等の職員手当 9,139,475 円である。

○ じん芥処理費

予算現額 1,856,070,000 円（対前年度比較 819,747,000 円・79.1%増）に対して支出済額は 1,032,389,913 円（対前年度比較 97,973,806 円・10.5%増）であり、翌年度繰越額は 726,191,900 円、不用額は 97,488,187 円、執行率は 55.6%である。

支出済額の主なものは、じん芥処理施設等管理運營業務 899,920,204 円、最終処分場浸出水処理施設定期整備補修 17,466,900 円、（仮称）剪定枝リサイクルセンター整備基本計画策定及び PFI 等導入可能性調査業務委託 16,731,000 円、第二清掃処理場等解体撤去工事に伴う環境プラザ進入路等通行止め対策工事 22,653,400 円、第二清掃処理場等解体撤去工事 50,000,000 円である。

不用額の主なものは、じん芥処理施設等管理運營業務 94,528,796 円であり、搬入ごみ量が見込より少なかったためによるものである。

なお、工事進捗の遅れから第二清掃処理場等解体撤去工事及び同施工監理業務を令和 6 年度へ繰り越している。

○ し尿処理費

予算現額 67,711,000 円（対前年度比較 5,706,000 円・7.8%減）に対して支出済額は 64,047,318 円（対前年度比較 5,471,880 円・7.9%減）であり、不用額は 3,663,682 円、執行率は 94.6%である。

支出済額の主なものは、水処理施設の施設修繕費 54,504,450 円である。

不用額の主なものは、施設修繕費である。

「5款 土木費」

土木費決算額

表 - 16

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	151,348,908	145,243,929	979,000	5,125,979	96.0%
4年度	355,199,000	293,255,212	23,946,908	37,996,880	82.6%
増減額	△203,850,092	△148,011,283	△22,967,908	△32,870,901	
増減率	△57.4%	△50.5%	△95.9%	△86.5%	

土木費の決算額は145,243,929円（対前年度比較148,011,283円・50.5%減）、歳出総額に対する割合は4.6%（前年度8.9%）となっている。

予算現額151,348,908円に対する執行率は96.0%、翌年度繰越額979,000円、不用額は5,125,979円である。

支出済額の主なものは、本郷ふれあい公園（第二工区）整備工事65,736,000円、用地買収に伴う物件移転等に係る損失補償費23,946,908円、本郷ふれあい公園（第二工区）外周道路実施設計業務委託17,600,000円、本郷ふれあい公園（第一工区）維持管理業務15,010,734円、本郷ふれあい公園（第二工区）土壌汚染調査業務委託4,620,000円である。

不用額の主なものは、本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業に係る外周道路実施設計業務、土壌汚染調査業務、建物等損失補償調査業務等の委託料4,922,138円である。

なお、建物確認申請先の都合により業務完了が見込めないため、本郷ふれあい公園（第二工区）申請図書等作成業務委託として979,000円を令和6年度へ繰り越している。

「6款 教育費」

教育費決算額

表 - 17

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	129,410,000	123,916,216	3,562,000	1,931,784	95.8%
4年度	206,590,000	192,439,216	0	14,150,784	93.2%
増減額	△77,180,000	△68,523,000	3,562,000	△12,219,000	
増減率	△37.4%	△35.6%	皆増	△86.3%	

教育費の決算額は123,916,216円（対前年度比較68,523,000円・35.6%減）、歳出総額に対する割合は4.0%（前年度5.9%）となっている。

予算現額129,410,000円に対する執行率は95.8%、翌年度繰越額3,562,000円、不用額は1,931,784円である。

支出済額の主なものは、高座施設組合屋内温水プール指定管理料101,343,800円、同屋内温水プール設備補修17,215,000円及び同屋内温水プール駐車場等補修工事2,037,000

円である。

不用額の主なものは、施設修繕費 1,738,000 円である。

なお、高座施設組合屋内温水プール駐車場等補修工事として 3,562,000 円を令和 6 年度へ繰り越している。

「7 款 公債費」

公債費決算額

表 - 18

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5 年度	1,029,134,000	1,028,929,922	0	204,078	99.9%
4 年度	1,027,761,000	1,026,965,495	0	795,505	99.9%
増減額	1,373,000	1,964,427	0	△591,427	
増減率	0.1%	0.2%	0.0%	△74.3%	

公債費の決算額は 1,028,929,922 円（対前年度比較 1,964,427 円・0.2%増）、歳出総額に対する割合は 32.9%（前年度 31.3%）となっている。

予算現額 1,029,134,000 円に対する執行率は 99.9%、不用額は 204,078 円である。

前年度に比べ支出済額が増加した理由は、元金償還の 1 件増加及び令和 4 年度に借り入れた本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業に係る利子償還によるものである。

支出済額の内訳は、既借入の元利償還金（元金 45 件、利子 55 件）であり、元金 1,014,063,916 円、利子 14,866,006 円である。

組合債における借入金残高の推移は、前年度末現在高 10,923,276,844 円に対し、令和 5 年度 68,300,000 円を借り入れ、1,014,063,916 円を償還、令和 5 年度末の借入金現在高は 9,977,512,928 円となっている。

「8 款 予備費」

予備費決算額

表 - 19

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5 年度	252,089,000	0	0	252,089,000	0.0%
4 年度	354,055,000	0	0	354,055,000	0.0%
増減額	△101,966,000	0	0	△101,966,000	
増減率	△28.8%	0.0%	0.0%	△28.8%	

予備費は、当初予算額 30,000,000 円に対し、補正予算により 229,842,000 円増額し、7,753,000 円を充用したので、予算現額は 252,089,000 円となっている。

6 実質収支に関する調書

令和5年度一般会計の歳入総額及び歳出総額は、予算現額4,245,262,908円に対し、歳入総額3,513,592,457円、歳出総額3,126,643,460円となり歳入歳出差引額（形式収支）は386,948,997円となっている。

また、歳入歳出差引額（形式収支）から翌年度へ繰り越すべき財源61,093,900円（翌年度繰越額のうち、未収入特定財源674,039,000円を除いた繰越金）を差し引いた実質収支額は325,855,097円となり、本年度実質収支額から前年度実質収支額487,741,211円を差し引いた単年度収支額は△161,886,114円である。

最近5箇年の単年度収支状況については、別表4（27ページ）のとおりである。

7 財産に関する調書

（1） 公有財産

ア 土地

本年度中の土地の増減はなく、本年度末の土地面積合計は103,346.28㎡である。

イ 建物

本年度中の建物の増減はなく、本年度末の建物延面積合計は33,654.55㎡である。

（2） 物品（購入価格50万円以上）

予算決算会計規則第109条に定める今年度の重要物品は、プールロボット1台を廃棄。本年度末の重要物品合計は14台である。

8 結び

令和5年度の決算状況と事業状況を総括し、併せて要望事項を述べて結びとする。

(1) 決算状況

令和5年度の歳入総額3,513,592,457円は、前年度に比べ262,813,856円(対前年度比較7.0%)減少した。減少の主な要因は国庫支出金であり、本郷ふれあい公園(第二工区)整備事業において用地買収から整備工事への事業進捗に応じた特定財源の減少によるものである。

歳出総額3,126,643,460円は、前年度に比べ152,058,734円(対前年度比較4.6%)減少した。これは、本郷ふれあい公園(第二工区)整備事業における事業進捗により事業費が減少したこと、前年度実施した屋内温水プールにおける外壁等修繕工事が完了したことによるものである。

形式収支は386,948,997円(対前年度比較110,755,122円・22.3%減少)となり、翌年度へ繰り越すべき財源61,093,900円(令和5年度から令和6年度へ繰り越した事業のうち未収入特定財源を除いた額)を差し引いた実質収支は、325,855,097円(対前年度比較161,886,114円・33.2%減少)で、全額純繰越金となる。

予算現額に対する執行率は、歳入が82.8%、歳出が73.7%である。

(2) 事業状況

直近3箇年の総ごみ搬入量は減少傾向にあるが、事業系可燃物は、コロナ禍の落ち着きによる経済活動の回復に伴い令和4年度に対し増加している。

令和5年度の総ごみ搬入量66,901.45t(うち可燃物は64,638.78t)は、前年度と比較すると、1,680.32t(2.5%)減少している。

内訳別の前年度比較は、家庭系可燃物は2,029.45t(4.1%)減少、事業系可燃物は611.24t(3.6%)増加、不燃物は82.44t(7.9%)減少、粗大ごみは179.67t(12.1%)減少している。

令和3年度、令和4年度の総し尿搬入量は減少傾向にあったが、令和5年度は増加した。

令和5年度の総し尿搬入量10,717.71tは、前年度と比較すると210.14t(2.0%)増加しており、生し尿は45.49t(3.6%)減少、浄化槽汚泥は255.63t(2.8%)増加した。

浄化槽汚泥が増加した主な要因は、公共下水道へ切り替える際、浄化槽撤去に伴い沈殿した汚泥の清掃によるものである。

ごみ処理及びし尿処理コストについては、組合債の償還に伴う公債費及び施設建設等の投資的経費を除いて検証すると、ごみ処理コストは1 t当たり 15,330 円で前年度より 767 円 (5.3%) 増加しており、これは搬入量は減少したが、物価高騰に伴う特別目的会社への委託料が増加したことによるものである。

し尿処理コストについては、搬入量が増加しているものの、施設維持管理に係る費用が減少したことにより、1 t当たり 9,623 円となり、前年度より 895 円 (8.5%) 減少している。

構成市におけるごみ削減の状況については、令和4年度に改定した一般廃棄物処理基本計画では、搬入量について令和5年度の目標値 66,358 t に対し、令和5年度の実績は 66,901 t となり年間 543 t 超過している状況であった。基本計画では令和9年度までに目指すべき焼却量の年間目標値を 59,000 t と定めており設備の早期消耗や能力低下をさけて、適正に焼却できる処理能力を有する施設を維持するため、構成市とともに搬入量の更なる減量を目指す努力を継続する必要がある。

また、令和元年度に発生した高座クリーンセンターマテリアルリサイクル施設火災以降、搬入不適物（リチウムイオン電池等）の対策として監視強化等を図っているが、施設の安定稼働のためにも今後も構成市から不適物を持ち込まない取り組みについて、引き続き構成市と連携して強化を図っていく必要がある。

高座施設組合屋内温水プール及び本郷老人福祉センターは、施設周辺住民のほか構成市民等に親しまれており、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症のため減少した利用者数は緩やかに上昇しつつあり、令和5年度は新型コロナウイルス感染症発生前の利用状況に近い水準に戻ってきている。

高座施設組合屋内温水プールの利用者数は令和4年度に対し 5,448 人多い 123,735 人となっている。本郷老人福祉センターの利用件数は令和4年度に対し 50 件多い 229 件となり利用者は 1,712 人多い 5,646 人となっている。

高座施設組合屋内温水プール及び本郷老人福祉センターは両施設一括の指定管理者制度を導入しており、令和5年度は指定管理期間2年目であり、令和8年度までの5年間管理を行う予定である。

令和元年度に開館した環境プラザは、新型コロナウイルス感染拡大防止措置の5類感染症移行に伴い、見学、啓発イベント等による利用状況は令和4年度に対し 6,745 人多い 23,579 人となり、開館以来最大の利用者数となった。また、当初より8月と12月に実施している夜間見学会についても利用者に好評を得ている状況である。

(3) 要望事項

令和元年度に更新したじん芥処理施設等の管理運営は、特別目的会社に委託した効果により経費は抑制されているが、ごみの実搬入量は減少傾向にあるものの依然として計画量を上回っているため、将来的に予想し得ない補修等による費用増加の懸念がされ、今後とも計画量に近づける努力を惜しんではいけない。

また、施設更新に伴いじん芥処理施設等に対する組合債の償還が開始されており、公債費は増加傾向で推移することとなり、今後においても施設更新に伴う組合周辺環境整備の一環として位置づけられる本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業、稼働を停止した旧焼却施設等の解体及び跡地整備など多くの費用を要する事業が予定されている。こうした中、人件費や原材料費の高騰に伴い、建設工事費にも影響が生じる可能性があり、当該事業に充てる組合債の発行についても、構成市への財政負担の更なる増加が予想される。

こうした状況下、今後の財政負担を軽減するためにも焼却から資源化へシフトし脱炭素化を図るため、構成市民の分別の意識向上を促す等により改定した基本計画を基に構成市とともに、遅滞しているごみ削減を喫緊に進めなければならないとともに施設火災の要因となり得るリチウムイオン電池等の搬入不適物について、構成市から持ち込まないための施策により資源の有効利用に取り組む必要がある。

当組合は構成市から排出される一般廃棄物の共同処理を目的に設立されている。

一般廃棄物処理施設を安全・安定的に稼働させることは組合の責務であるが、搬入される一般廃棄物に混入する資源物及び処理困難物を分別することにより、一般廃棄物処理量の削減及び温室効果ガスの大幅な削減を図るなど脱炭素社会を意識し、持続可能な社会に向けた環境問題へ総合的に取り組むことで、循環型社会構築の先に施設の安定稼働がいつてくるものである。

組合の業務は、じん芥処理施設等の管理運営を特別目的会社に委託したことで、構成市から搬入される一般廃棄物処理に対する関わり方に変化が生じたものの、受け入れる一般廃棄物を安定的かつ安全に処理する使命に変わりはなく、構成市民生活にとって欠かすことのできない行政サービスを担う組織としてあり続けなければならない。

組合運営は構成市からの分担金（構成市民の税金）によって賄われているものであり、一部事務組合を設立した趣旨に鑑みて、ごみ削減はもとより循環型社会形成への意識向上に努め、各市独自の更なる積極的な取組とその実効を強く要望するものである。

また、構成三市の一般廃棄物処理を担う組合は、環境に関連する事業が多く、安全安心な施設運営はもちろんのこと、持続可能な開発目標（SDGs）を達成するため、令和5年度を開始年度とし9件の取組を定め、実行、管理を行ったことを評価しつつ、今後も組合が行う事業に積極的にSDGsを取り入れ、事業を推進して頂きたい。

なお、地球温暖化の進行に伴い、今後、豪雨災害や猛暑のリスクが更に高まることが予想されることを踏まえて、現状及び将来への懸念、かつ喫緊の課題であるごみの搬入量削減が最優先事項であることを認識し、構成市へ問題提起をすることにより施策へ反映させるために協働で取り組まなければならないと思料する。

さらに、周辺環境対策への課題として、現在事業を進めている公園整備及び旧施設の解体撤去、施設撤去後の跡地利用、高座施設組合屋内温水プールや本郷老人福祉センターの大規模修繕や施設更新などの他、係争事案（敦賀市との訴訟）について、先方が上告し最高裁の判決待ちの状況で時間を要する状況となっており、場合によりこれらに更なる予算を要する事が想定される。

以上のことを踏まえると、組合には、周辺地域と築き上げた信頼関係を維持継続するとともに、次世代により良い環境を残していくために適正なごみ処理の実施及び効率的な予算の執行に努め、組合としての責務を確実に遂行することが求められている。そのことを強く要望することで、令和5年度決算の結びとするものである。

(以上)

決 算 審 査 資 料

別表 1 最近 5 箇年の歳入決算状況

別表 2 分担金決算年度比較表

別表 3 最近 5 箇年の歳出決算状況

別表 4 最近 5 箇年の単年度収支状況

別表 5 款別歳入決算年度比較表

別表 6 款別歳出決算年度比較表

別表 1

最近 5 箇年の歳入決算状況

(単位：円)

区分 \ 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
予算現額	4,245,262,908	3,830,835,000	3,734,472,000	3,350,820,000	2,836,871,600
調定額	3,513,592,457	3,776,406,313	3,511,753,767	3,090,128,258	2,881,435,119
収入済額	3,513,592,457	3,776,406,313	3,511,753,767	3,090,128,258	2,881,435,119
不納欠損額	0	0	0	0	0
収入未済額	0	0	0	0	0
予算現額と収入済額との比較	△ 731,670,451	△ 54,428,687	△ 222,718,233	△ 260,691,742	44,563,519
予算現額に対する収入済額の割合	82.8%	98.6%	94.0%	92.2%	101.6%

別表 2

分担金決算

区 分			令和5年度 ①				海老名市	
			海老名市	座間市	綾瀬市	合 計		
運営費 分担金	共通費割	均等割	71,074,000	71,074,000	71,074,000	213,222,000	89,285,000	
		搬入量割	120,269,000	112,580,000	86,986,000	319,835,000	147,335,000	
		計	191,343,000	183,654,000	158,060,000	533,057,000	236,620,000	
	ごみ 処理費割	均等割	112,862,000	112,862,000	112,862,000	338,586,000	109,542,000	
		搬入量割	92,659,000	175,135,000	119,743,000	387,537,000	78,754,000	
		計	205,521,000	287,997,000	232,605,000	726,123,000	188,296,000	
	し尿 処理費割	均等割	10,894,000	10,894,000	10,894,000	32,682,000	10,334,000	
		搬入量割	20,598,000	24,793,000	30,864,000	76,255,000	23,961,000	
		計	31,492,000	35,687,000	41,758,000	108,937,000	34,295,000	
	過年度分担金精算額			0	0	0	0	△ 6,388,000
	運営費分担金合計			428,356,000	507,338,000	432,423,000	1,368,117,000	452,823,000
	建設費 分担金	共通 経費割	均等割	28,000	28,000	28,000	84,000	2,306,000
			人口割	48,000	47,000	30,000	125,000	4,020,000
自治基盤強化総合 補助金後引控除額			0	0	0	0	△ 5,974,000	
計			76,000	75,000	58,000	209,000	352,000	
ごみ処理 施設費割		均等割	137,999,000	137,999,000	137,999,000	413,997,000	131,159,000	
		搬入量割	236,437,000	227,398,000	157,157,000	620,992,000	224,915,000	
		自治基盤強化総合 補助金後引控除額	△ 16,540,000	△ 16,156,000	△ 13,505,000	△ 46,201,000	△ 3,795,000	
		計	357,896,000	349,241,000	281,651,000	988,788,000	352,279,000	
し尿処理 施設費割		均等割	3,585,000	3,585,000	3,585,000	10,755,000	3,585,000	
		搬入量割	4,161,000	5,909,000	6,066,000	16,136,000	4,161,000	
		計	7,746,000	9,494,000	9,651,000	26,891,000	7,746,000	
建設費分担金合計			365,718,000	358,810,000	291,360,000	1,015,888,000	360,377,000	
周辺環境整備費分担金			10,504,000	10,504,000	10,504,000	31,512,000	10,521,000	
分担金総合計			804,578,000	876,652,000	734,287,000	2,415,517,000	823,721,000	
分 担 率			33.3087%	36.2925%	30.3988%	100.0000%	33.2919%	

年度比較表

(単位：円)

令和4年度 ②			増減額 (①-②)			
座間市	綾瀬市	合計	海老名市	座間市	綾瀬市	合計
89,285,000	89,285,000	267,855,000	△ 18,211,000	△ 18,211,000	△ 18,211,000	△ 54,633,000
144,562,000	109,882,000	401,779,000	△ 27,066,000	△ 31,982,000	△ 22,896,000	△ 81,944,000
233,847,000	199,167,000	669,634,000	△ 45,277,000	△ 50,193,000	△ 41,107,000	△ 136,577,000
109,542,000	109,542,000	328,626,000	3,320,000	3,320,000	3,320,000	9,960,000
169,520,000	111,024,000	359,298,000	13,905,000	5,615,000	8,719,000	28,239,000
279,062,000	220,566,000	687,924,000	17,225,000	8,935,000	12,039,000	38,199,000
10,334,000	10,334,000	31,002,000	560,000	560,000	560,000	1,680,000
22,405,000	25,972,000	72,338,000	△ 3,363,000	2,388,000	4,892,000	3,917,000
32,739,000	36,306,000	103,340,000	△ 2,803,000	2,948,000	5,452,000	5,597,000
△ 6,388,000	△ 6,388,000	△ 19,164,000	6,388,000	6,388,000	6,388,000	19,164,000
539,260,000	449,651,000	1,441,734,000	△ 24,467,000	△ 31,922,000	△ 17,228,000	△ 73,617,000
2,306,000	2,306,000	6,918,000	△ 2,278,000	△ 2,278,000	△ 2,278,000	△ 6,834,000
3,894,000	2,465,000	10,379,000	△ 3,972,000	△ 3,847,000	△ 2,435,000	△ 10,254,000
△ 5,856,000	△ 4,507,000	△ 16,337,000	5,974,000	5,856,000	4,507,000	16,337,000
344,000	264,000	960,000	△ 276,000	△ 269,000	△ 206,000	△ 751,000
131,159,000	131,159,000	393,477,000	6,840,000	6,840,000	6,840,000	20,520,000
216,300,000	148,998,000	590,213,000	11,522,000	11,098,000	8,159,000	30,779,000
△ 3,706,000	△ 3,098,000	△ 10,599,000	△ 12,745,000	△ 12,450,000	△ 10,407,000	△ 35,602,000
343,753,000	277,059,000	973,091,000	5,617,000	5,488,000	4,592,000	15,697,000
3,585,000	3,585,000	10,755,000	0	0	0	0
5,909,000	6,066,000	16,136,000	0	0	0	0
9,494,000	9,651,000	26,891,000	0	0	0	0
353,591,000	286,974,000	1,000,942,000	5,341,000	5,219,000	4,386,000	14,946,000
10,521,000	10,521,000	31,563,000	△ 17,000	△ 17,000	△ 17,000	△ 51,000
903,372,000	747,146,000	2,474,239,000	△ 19,143,000	△ 26,720,000	△ 12,859,000	△ 58,722,000
36.5111%	30.1970%	100.0000%	—	—	—	—

別表 3

最近 5 箇年の歳出決算状況

(単位：円)

区分 \ 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
予算現額	4,245,262,908	3,830,835,000	3,734,472,000	3,350,820,000	2,836,871,600
支出済額	3,126,643,460	3,278,702,194	3,016,837,242	2,776,099,953	2,302,462,736
翌年度繰越額 ※	735,132,900	27,862,908	288,244,000	287,754,000	72,346,000
不用額	383,486,548	524,269,898	429,390,758	286,966,047	462,062,864
執行率	73.7%	85.6%	80.8%	82.8%	81.2%

※ 令和 5 年度から令和 6 年度への翌年度繰越額は、繰越明許費繰越額及び事故繰越し繰越額であり、財源内訳は、未収入特定財源674,039,000円、一般財源61,093,900円である。

別表 4

最近 5 箇年の単年度収支状況

(単位:円)

区分	年度				
	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
歳入総額 A	3,513,592,457	3,776,406,313	3,511,753,767	3,090,128,258	2,881,435,119
歳出総額 B	3,126,643,460	3,278,702,194	3,016,837,242	2,776,099,953	2,302,462,736
歳入歳出差引額 C (A - B)	386,948,997	497,704,119	494,916,525	314,028,305	578,972,383
翌年度繰越額 D	735,132,900	27,862,908	288,244,000	287,754,000	72,346,000
Dのうち未収入特定 財源額 E	674,039,000	17,900,000	248,457,000	230,098,000	0
翌年度へ繰り越す べき財源 F (D - E)	61,093,900	9,962,908	39,787,000	57,656,000	72,346,000
実質収支額 G (C - F)	325,855,097	487,741,211	455,129,525	256,372,305	506,626,383
前年度実質収支額 H	487,741,211	455,129,525	256,372,305	506,626,383	595,207,589
単年度収支額 I (G - H)	△ 161,886,114	32,611,686	198,757,220	△ 250,254,078	△ 88,581,206
繰上償還額 J	0	0	0	0	0
実質単年度収支額 K (I - J)	△ 161,886,114	32,611,686	198,757,220	△ 250,254,078	△ 88,581,206

別表 5

款別歳入決算年度比較表

(単位：円)

区分	令和 5 年度				令和 4 年度			
	収入済額	構成比	増減額	増減率	収入済額	構成比	増減額	増減率
1 分担金及び負担金	2,415,517,000	68.7%	△ 58,722,000	△ 2.4%	2,474,239,000	65.5%	196,341,000	8.6%
2 使用料及び手数料	442,927,469	12.6%	15,658,513	3.7%	427,268,956	11.3%	13,161,730	3.2%
3 国庫支出金	55,133,000	1.6%	△ 69,195,000	△ 55.7%	124,328,000	3.3%	15,359,000	14.1%
4 県支出金	29,847,000	0.9%	△ 9,832,000	△ 24.8%	39,679,000	1.0%	△ 14,705,000	△ 27.0%
5 繰越金	497,704,119	14.2%	2,787,594	0.6%	494,916,525	13.1%	180,888,220	57.6%
6 諸収入	4,163,869	0.1%	3,689,037	776.9%	474,832	0.1%	79,196	20.0%
7 組合債	68,300,000	1.9%	△ 147,200,000	△ 68.3%	215,500,000	5.7%	△ 126,300,000	△ 37.0%
8 財産収入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	△ 171,600	△ 100.0%
合 計	3,513,592,457	100.0%	△ 262,813,856	△ 7.0%	3,776,406,313	100.0%	264,652,546	7.5%

別表 6

款別歳出決算年度比較表

(単位：円)

区分 款	令和 5 年度				令和 4 年度			
	支出済額	構成比	増減額	増減率	支出済額	構成比	増減額	増減率
1 議会費	1,089,830	0.1%	△ 4,792	△ 0.4%	1,094,622	0.1%	8,040	0.7%
2 総務費	383,204,779	12.2%	△ 11,939,597	△ 3.0%	395,144,376	12.0%	△ 30,497,236	△ 7.2%
3 民生費	25,643,476	0.8%	△ 1,414,000	△ 5.2%	27,057,476	0.8%	1,043,160	4.0%
4 衛生費	1,418,615,308	45.4%	75,869,511	5.7%	1,342,745,797	41.0%	△ 229,352,579	△ 14.6%
5 土木費	145,243,929	4.6%	△ 148,011,283	△ 50.5%	293,255,212	8.9%	58,552	0.1%
6 教育費	123,916,216	4.0%	△ 68,523,000	△ 35.6%	192,439,216	5.9%	92,474,140	92.5%
7 公債費	1,028,929,922	32.9%	1,964,427	0.2%	1,026,965,495	31.3%	428,130,875	71.5%
8 予備費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合 計	3,126,643,460	100.0%	△ 152,058,734	△ 4.6%	3,278,702,194	100.0%	261,864,952	8.7%